

あずまCていね

生活支援体制整備事業とは・・・

ひとり暮らし世帯や、話し相手、外出時の付添、掃除などのちょっとしたお手伝いを必要とする高齢者がいつまでも安心して暮らせるよう、町内会、地区福祉のまち推進センター、民生委員児童委員、老人クラブ、地域包括支援センター、社会福祉法人、NPO法人、地域企業などが一体となった、身近な地域での支え合いの仕組みづくりを推進し、お互い様の地域づくりを目指していきます。

富丘・西宮の沢、手稲中央地区にて生活支援推進連絡会を開催しました。



3月18日に富丘・西宮の沢、3月22日に手稲中央地区にて生活支援推進連絡会を開催いたしました。町内関係者の皆様にお集まりいただき、各区で実施された地域機関の研修会の振り返りとして、拳がった意見をもとに情報共有・地域課題について意見交換いただきました。

※「生活推進連絡会」とは「地域の困りごとについて把握・解決するために話し合う場」のことです。



ボランティア交流会にて「助け合いゲーム」を実施しました。

助け合いゲームとは・・・

60枚のカードから、自分が「助けてもらいたいこと」を3枚ずつ選びます、その後選んだカードをグループ内に見せ、手伝ってもらえるか交渉します！成立したら相手にカードを渡し、最後に残った枚数を見て自分は「助け上手」、「助けられ上手」なのかを判断してみましょう。

カードを選びます。



交渉中・・・



成立！



取り組み後の感想

- カードを使うと手伝って欲しいことの整理がつきやすく、助けて欲しいことが伝えやすくなった！
- 自分にできることが多くあるとわかり、自信につながった！
- 5年、10年先にも自分らしく暮らすために「手伝って」「できるよ」と言い合える仲間づくりをしたい！

今まで頼めると思っていなかったことや、手伝えることの幅が増えた等、ゲームを通して、改めて気付くことができたとの声が多くありました。これからの活動がより良いものになるよう、今後も地域で活躍される皆様のお手伝いをさせていただきたいと思っております。

生活支援推進員

みてあるき 見て歩記



生活支援推進員が地域で活躍されている皆さんの取り組みについて教えていただいたり、地域で暮らす皆さんの日常生活上の気になること・困っていることについて、聞かせていただいたことをご紹介します。

星置地区「サロンコスモス」 (3月18日 夢トピアコスモフラザ)

コスモス会は夢トピア星置町内会連合会福祉部の活動の一環として、毎月第3月曜日に手芸や体操・カラオケ・時には外部からの出前サロン、年に1度のバス旅行にも出かけています。この日は、「分いしかり札幌そば打ち道場」の皆さんのデモンストレーションを見て、蕎麦の試食をしました！



みなさん、真剣なまなざしです。



粉合わせ、捏ねと進み、生地が広がるにつれて、質問もふえて、「家庭で、美味しくそばを茹でるにはどうしたらいいの?」との質問があがると、皆さん、興味深々でした。美味しいお蕎麦、家でも食べたいですね！

中には、「子どものころ、母が作るのをよく手伝いました」と、昔を懐かしんでのお話もありました。

参加者の方に聞かせていただいた

「日々の暮らしの困りごと・気になること」

- ・今は元気だけれど、これから先、どうなるかな?
- ・子供たちは はなれていて、急用は頼みにくい。
- ・秋の地震のような状況になったらどうしよう。

先々の事が心配なご様子でした。

担当職員より

3月より、第2層生活支援コーディネーターとして配属になりました、**菅原 朋代(すがわら ともよ)**と申します。

美味しいものを食べる事、歩くこと、お話を聞くことが大好きです。皆さんの楽しみやちょっとしたお困りごとを、沢山聞きに伺います！どうぞ、よろしく願いいたします。



社会福祉法人 札幌市手稲区社会福祉協議会

住所 札幌市手稲区前田1条11丁目 手稲区民センター1階

電話 (011)681-2644 FAX (011)681-8650

Web サイトアドレス <http://www.sapporo-shakyo.or.jp/teine>